



I 女性活躍推進の取組について

「なら女性活躍推進倶楽部」を平成29年12月に設立し、平成30年度から取組を本格実施 登録企業数：113企業（572事業所） ※令和元年10月末時点

これまでの取組内容

企業と女性が出会う場の提供

- ・ 再就職希望女生と企業との交流
- ・ 女子大学生と企業との交流

企業間交流等の促進

- ・ 異業種交流会
- ・ 女性活躍推進のための企業・事業所向けセミナー

企業の魅力発見・発信

- ・ 女子大学生とともに企業を訪問・取材し、その魅力をHP等で発信

II 企業との取組を進めるなかで把握した現状分析

女性と企業の求めるものには、3つの阻害要因があり、就業率に結びつかない

女性

働きたいが働いていない

[潜在労働力数] 20～64歳：約46,000人、25～44歳：約25,000人

○再就職の現状・ニーズ

- 未就労女性の6割以上が働きたい希望があるが、そのうちの4割は働くのは1年以上先と考えている。希望の就労形態は居住市町村内でのパート・アルバイト [就労希望有り] 60.8% [希望勤務地] 居住市町村 (73.4%) [希望就労形態] パート・アルバイト (92.1%)

- 休暇を取りやすい職場や事務系が人気 (相談窓口より)

- 末子の年齢が高くなるにつれ働く女性は増えるが、その形態はパート・アルバイトで、職場は自宅から30分未満が多い。

[末子の年齢別・就労している妻の割合]
2～3歳：51.8% 4～6歳：60.4% 10～12歳：77.3%
[妻の通勤時間 (片道)]
15～30分未満：27.4% 15分未満：23.5%

➢ 仕事へのイメージ

- ・ 仕事のブランクや社会復帰への漠然とした不安
- ・ 家事や子育ての両立が難しそう
- ・ 福祉系や製造業、サービス業はしんどそう
- ・ 自分の力を生かせる企業がない
- ・ 管理職に魅力を感じない女性が多い

3つの阻害要因の分析

1 求職も求人もあるが、女性の希望と企業の求めるものに齟齬があり、就職に結びつかない。

2 「女性活躍」が企業成長のキーポイントとなることを、経営者が認識していないところと十分認識しているところの二極化。

3 再就職希望女性は、仕事や両立に対する漠然とした不安や思い込みがあり、再就職に踏み切れない。

企業

人材が集まらない

○求人の現状・ニーズ

- パートの平均有効求人倍率は1.55倍 事務の求人は1を下回る一方、サービス業などは5倍以上と業種により大きな開きがある。

職業別	求職者数 [人]	求人数 [人]	求人倍率 [倍]
パート全体	6,921	10,752	1.55
・事務	824	548	0.67
・サービス (接客や介護など)	369	2,073	5.62

出典：奈良労働局「求人・求職バランスシート (令和元年8月)」

➢ 女性へのイメージ

- ・ 女性は優秀で即戦力
- ・ 女性は仕事や管理職登用への意欲が低い
- ・ 出産・子育てで辞められたら困る

➢ 現場の特徴や成果

- ・ 女性の希望に合わせ、勤務時間を変更
- ・ 重労働の解消のため、現場を機械化・システム化
- ・ 南部では駐車場完備、都市部では駅近職場
- ・ パートの再就職女性が役員に
- ・ 女性活躍で売上アップ

「なら女性活躍推進倶楽部」事業の推進

Ⅲ 阻害要因の課題対応別R2年度の取組の方向性について

<目指す姿> 企業向け、女性向けそして企業と女性をつなぐ取組を積み上げていき、M字カーブの底上げを目指します！

- <R2年度 取組の特徴>**
- ・今までと同じ取組についても、共催や連携希望があるなど積極的な倶楽部登録企業と有機的に連携し取り組みを実施します
 - ・ジャーナルなどの媒体を通し、特に女性と企業のWINWINの働き方を周知します
 - ・若年女性の取組は集客に苦勞する一日のイベント型から県内外の大学の授業などと連携した大学訪問型として実施します

阻害要因の分析（前ページの再掲）

課題と対応

取組テーマ

取組の方向性

